

令和7年9月4日

1. 出席議員

1 番	釘 尾	勢津子	9 番	松 田	義 太
2 番	宮 崎	幸 宏	10 番	勝 屋	弘 貞
3 番	笠 繼	健 吾	11 番	角 田	一 美
4 番	中 村	日出代	12 番	伊 東	茂
5 番	池 田	廣 志	13 番	福 井	正
6 番	杉 原	元 博	14 番	松 尾	征 子
7 番	樋 口	作 二	15 番	中 村	和 典
8 番	中 村	一 堯	16 番	徳 村	博 紀

2. 欠席議員

な し

3. 本会議に出席した事務局職員

事 務 局 長	白仁田	和 哉
事 務 局 長補 佐	中 島	圭 太
議 事 管 理 係 長	松 本	則 子

4. 地方自治法第121条により出席した者

市長	松尾勝利
副市長	鳥飼広敬
教育長	吉牟田一
政策総務部長	川原逸生
市民部長兼福祉事務所長	岩下善孝
産業部長	山崎公和
建設環境部長	山浦康則
会計管理者兼会計課長	藤家隆
総務課長	嶋江克彰
総務課参事兼選挙管理委員会事務局長	寺岡弘樹
人権・同和対策課長	山崎智香子
政策調整課長兼ゼロカーボン推進室長	中村祐介
政策調整監兼DX推進室長	三島正和
広報企画課長	田中美穂
財政課長	山村和穂
財政課参考事	森秀哲
公共施設マネジメント室長	中原徳文
市民課長	中尾勝徳
税務課長	幸尾かおる
保険健康課長	山口洋輔
福祉課長	染川康子
産業支援課長	高木智大
商工観光課長	松丸環
農林水産課長	中山佐希
農業委員会事務局長	星野晃行
建設住宅課長	高島将臣
建設住宅課参考事	江島裕康
都市計画課長兼鹿島駅前周辺整備推進室長	手堀秀和
環境下水道課長兼ラムサール条約推進室長	堀山正樹
環境下水道課参考事	橋川宜明
水道課長	中村浩一郎
教育次長兼教育総務課長	江頭憲和
生涯学習課長兼中央公民館長	江山徹也

---

## 令和7年9月4日（木）議事日程

開会・開議（午前10時）

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

---

午前10時 開会

○議長（徳村博紀君）

皆さんおはようございます。ただいまの出席議員は16名であります。定足数に達しておりますので、ただいまより鹿島市議会令和7年9月定例会を開会いたします。

本日の開議に先立ちまして申し上げます。

先例等申合せ事項で、議会における服装は5月1日から10月31日までの期間については議場ではノーネクタイのクールビズ対応としたいと思います。

なお、上着の脱衣については個人の裁量に任せたいと思います。

それでは、議事に入ります。

日程は、お手元の議事日程どおりといたします。

### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（徳村博紀君）

日程第1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に4番中村日出代議員、5番池田廣志議員、6番杉原元博議員、以上を指名いたします。

### 日程第2 会期の決定

○議長（徳村博紀君）

次に、日程第2. 会期の決定を議題といたします。

今期定例会の会期は、お手元の会期日程案のとおり、本日から10月3日までの30日間といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（徳村博紀君）

御異議ないと認めます。よって、会期は30日間と決定いたしました。

この際、事務局長をして諸般の報告をいたさせます。白仁田事務局長。

○議会事務局長（白仁田和哉君）

諸般の報告をいたします。

本日招集の9月定例会に市長から報告2件、議案12件の提出がありました。報告事項、議案番号及び議案名は、配付しております議案書の目次に記載のとおりであります。

次に、監査委員から令和6年度、令和7年4月分及び5月分並びに令和7年度4月分、5月分及び6月分の出納検査結果の報告がありましたので、その写しをタブレットに掲載いたしております。

以上で諸般の報告を終わります。

### 日程第3 議案の一括上程（市長の提案理由説明）

#### ○議長（徳村博紀君）

次に、日程第3. 議案の一括上程であります。

報告第8号から報告第9号までの報告2件及び議案第53号から議案第64号までの12議案を一括上程いたします。

市長の提案理由の説明を求めます。松尾市長。

#### ○市長（松尾勝利君）

おはようございます。本日、ここに鹿島市議会令和7年9月定例会を招集し、諸案件について御審議をお願いするものですが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

初めに、市民の声をまちづくりに生かす取組について申し上げます。

私は市政を取り巻く社会情勢や市民の皆様の考え方などを的確に捉え、今後のまちづくりにどのように生かしていくべきかを常々意識して市政運営に当たってきました。特に、市民の皆様の声には様々な機会を捉え耳を傾け、これからまちづくりを考えています。

6月末には昨年に引き続き市長と語る会を開催し、市民と直接意見交換することができました。今回は土日に開催したこともあり、働く世代や女性の参加者が多く、子育て世代の悩みや子育て環境の充実などの声が数多く寄せられました。

その中に、猛暑の中、子供たちが安心して気軽に集える場所が欲しいという声がありましたので、皆様が涼める場所、涼みどころとして、これまでの図書館や市民交流プラザかたらいに加え、各地区公民館や市民文化ホールSAKURASなどを開放し、併せて給水スポットも新たに設置しました。今後もできることから順次取り組んでいきたいと思います。

来年度からスタートする第八次鹿島市総合計画についても、市民アンケートや審議会、パブリックコメントなどを通じて、様々な御意見、御提言をいただきながら策定したいと考えています。今後も市民の皆様の声に耳を傾けながら、よりよいまちづくりのため検討を重ね、取り組んでいきます。

次に、プレミアム付商品券について申し上げます。

物価高騰による家計への影響は依然として続いています。また、市内事業者の皆さんにとっても、原材料価格や光熱費の高騰が経営に影響を及ぼしています。こうした状況を少し

でも和らげ、市民生活や地域経済を支えるため、プレミアム付商品券を発行しており、9月1日から販売が始まっています。

本市では、これまで様々な形での商品券事業を数年にわたり実施してきました。今回は、これまでの紙商品券に加え、新たに電子商品券「かしまんPay」を導入しました。

かしまんPayは1円単位で利用可能であることに加え、申込みから購入、使用に至るまで、全てスマートフォン一つで完結できる点が大きな特徴です。また、アプリ上で残高や利用履歴を確認できるため、家計管理にも役立ちます。

商品券は1セット5千円分を4千円で販売しており、25%のプレミアムがついています。内訳は、全ての取扱店で利用可能な共通券が2千円分、小規模店舗のみで利用できる商品券が3千円分です。共通券と小規模店舗専用券を組み合わせることで、市内全体での消費を喚起しつつ、小規模事業者の支援も行っていきます。

物価高騰が続く厳しい状況の中、市民生活を少しでも支え、地域経済に活力を取り戻すため、この事業を進めていきます。

次に、肥前鹿島駅周辺整備の工事の進捗について申し上げます。

いよいよ新駅舎の造成工事が9月下旬から始まります。造成工事に当たり、新設の駐輪場が完成するまでの期間は、旧祐徳ビル跡地の仮設駐輪場を御利用いただくことになります。また、市営駅前駐車場については、出入口が南側に変更となります。工事期間中は駐車台数が減少することで利用者の皆さんには御不便をおかけすることになりますが、御理解いただきますようお願いいたします。

また、社会実験として駅前の旧祐徳ビル跡地の一部に仮設広場「ひろばのたね」を開設しました。8月22日の納涼花火大会では、観覧会場として多くの方に御利用いただきました。今後も令和11年度の整備完了に向け、駅前エリアの活用と地元の気運を盛り上げていきますので、ひろばのたねの積極的な活用をよろしくお願ひいたします。

西九州新幹線開業に伴い、上下分離方式となったJR長崎本線は本年9月で丸3年を迎えます。これまで通勤、通学など市民の生活の足を守るため、また、本市を訪れる観光客の皆様にとっても快適な旅となるよう、長崎本線の利用促進に取り組んできました。本年は「かささぎでGo！」キャンペーン第4弾として、通常価格から割り引いた往復乗車券及び自由席特急券にクーポンをつけたデジタルきっぷを8月1日から販売しています。多くの方にこのお得な切符を御利用いただき、長崎本線の風景や食などの魅力を感じていただきたいと思います。

なお、9月23日には、子供たちなどに列車やEVバスの乗車体験など、公共交通に触れ合っていただく駅からGo！かしま公共交通体験フェスタを開催します。本年で3回目となるこのイベントは、移動動物園や子供たちが楽しめるアトラクション、キッチンカーの出店のほか、手話の日に合わせた普及啓発活動として手話ステーションブースを設置しますので、

ぜひ御来場ください。

また、本市を含む佐賀県全体の産業の発展や地域振興に必要な鉄道ネットワークについて、8月21日にJR九州に出向き、佐賀県と県内20市町の合同による要望活動を行いました。私も、通勤、通学に欠かせない長崎本線について、引き続き利便性を確保していただくよう要望したところです。各市町の抱える課題は様々ですが、利便性向上につながるよう、引き続き相互に連携しながら取り組んでいきます。

次に、有明海沿岸道路の事業進捗について申し上げます。

現在、国土交通省と佐賀県で事業が進められている有明海沿岸道路は、諸富インターチェンジから（仮称）川副インターチェンジまでの延長約1.1キロメートル区間で計画されており、令和8年度中の開通見通しが公表されました。また、8月6日に佐賀県が白石町で開催した地元説明会では、むつごろうカントリークラブ付近から廻里江川東側までの約2.5キロメートル区間について、ルートなどの道路計画案が新たに説明されました。

そのほか、日本風景街道「ありあけ海道～トレジャーロード～」の登録を契機として、8月2日には民間団体、ありあけ海道盛り上げ隊がキックオフイベントを開催しました。このイベントでは各地域の活動紹介が行われたほか、有明海沿岸地域を盛り上げるためのありあけ海道盛り上げ宣言が読み上げられ、より一層の連帶が強まったところです。

今後も様々な関係者や各地域住民と連携し、有明海沿岸道路など、本市を支える社会資本の早期整備のため、必要性や地元の熱意を国や県に強く訴えていきます。

次に、高校生との連携について申し上げます。

鹿島高校生と近隣の高校に通う学生をメンバーとした鹿島市高校生広告課、かしまクリエイティ部を立ち上げ、若者目線で鹿島市の魅力を市内外に発信する事業に市と高校生とが連携して取り組みます。この取組は、参加する高校生がプロのクリエイターやカメラマンから情報発信のコツを学び、鹿島市ならではの魅力を高校生自らが取材し発信する実践型の広告活動です。この活動で出てきた高校生のアイデアは、今後、本市のロゴとキャッチコピー制作にも生かしていきたいと考えています。

また、8月4日から6日までの3日間、市民交流プラザかたらいにおいて開催された鹿島高校生による誰一人取り残さないスマートフォン相談会では、高齢者など103人がスマートフォンの基本操作や市の公式LINE、てのひら市役所の便利な利用方法などを相談に訪れました。参加者からは丁寧で分かりやすく本当に助かったとの声が聞かれ、高校生もやりがいがあった、楽しかったと好評でした。今後も継続的に開催できればと計画していますので、御希望の方はぜひ次回参加いただければと思います。

次に、環境保全の取組について申し上げます。

平成27年5月に北鹿島地区の新籠海岸地先がラムサール条約湿地、肥前鹿島干潟として登録されて、今年で10周年となります。ラムサール条約は湿地と共に人と自然との共生を目指

す条約で、湿地の生態系と自然環境を守りながら、湿地を賢く利用することを目的としています。10年の節目の取組として、10月24日にシンポジウムを開催し、肥前鹿島干潟の魅力とすばらしさを伝えていきます。

そのほかにも、同時期に登録された佐賀市や荒尾市と共同でスタンプラリー事業などを連携して取り組み、有明海沿岸のラムサール条約湿地登録地の広報や交流人口の増加に取り組みます。

以上、9月定例会の開会に当たり、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げました。今後とも市民の皆様並びに議員の皆様のさらなる御理解と御協力をお願い申し上げます。

それでは、提案する案件について、その概要を説明します。議案は、報告2件、決算認定6件、新規条例制定1件、改正条例制定3件、補正予算2件の合計14件です。このうちの主な議案について申し上げます。

初めに、議案第53号から議案第58号については、令和6年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計に関する歳入歳出決算となります。

このうち、議案第53号 令和6年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

なお、決算については円単位でありますが、便宜上、千円単位で申し上げます。

令和6年度の歳入については、総額17,281,514千円となり、市債などの減により、対前年度比2.0%の減となりました。

一方、歳出については、総額17,004,935千円となり、投資的経費などの減により、対前年度比1.7%の減となりました。

その結果、翌年度に繰り越すべき財源を差し引き、244,735千円の黒字決算となりました。

基金については、市の積立金である財政調整基金から191,625千円の繰入れを行いましたが、12月の普通交付税の追加交付などにより約193,000千円の積立てを行いました。その結果、財政調整基金の年度末残高は約1,420千円増え、今後の財政運営に備えることとしています。

また、市債残高は令和6年度末では約133億円ですが、償還費のうち、普通交付税で全額措置されます臨時財政対策債を除けば、約9,580,000千円となります。

この償還費にも普通交付税により措置されるものがありますので、実質的に返済する金額は約5,560,000千円となっています。

本市の行財政運営の主要な部分を占める一般会計においては、今後も財政指標に留意しながら、健全な運営を行っていくことが重要であると認識しております。

以上、令和6年度決算認定についての説明を終わります。

今後とも効率的かつ効果的な行政運営、安定的かつ健全な財政運営の具現化を図る行財政

運営プランの着実な取組などにより、第七次鹿島市総合計画に掲げる主要施策の実現に向け、将来にわたり持続可能な行財政運営の構築に努めていきます。

次に、議案第63号 令和7年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に308,680千円を追加し、補正後の総額を17,046,737千円とするものです。

歳入については、事業の決定、既存事業の追加や減少などに伴う国・県支出金、市債などの増減を計上するとともに、令和6年度決算剰余金としての繰越金などを計上しています。

歳出のうち主なものとしては、総務費では、令和6年度決算剰余金の確定に伴い、地方財政法第7条の規定により決算剰余金のうち2分の1相当額を財政調整基金への積立金として計上しています。民生費では、低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業を、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン定期接種事業を、消防費では、消防施設整備事業を、教育費では、学校給食費保護者等負担軽減事業を計上しています。

このほか、個人や企業様から御寄附をいただいているので、それぞれの御寄附の趣旨に従い、有効に活用させていただきます。

最後に、議案第59号 鹿島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について申し上げます。

これは生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていない子供を育てている家庭が月10時間まで利用できるこども誰でも通園制度が国において創設されたことに伴い、実施するための基準を定めるものです。

以上、提案する主な議案の概要について説明しました。詳細については、御審議の際、担当部長、または課長が説明しますので、よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

#### ○議長（徳村博紀君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

明日5日から9日までの5日間は休会とし、次の会議は10日午前10時から開き、議案審議を行います。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時22分 散会